

組織工学的アプローチによる筋収縮モデルの構築

吉岡, 貫太郎

<https://hdl.handle.net/2324/4060141>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

| | | | | |
|--------|------------------------|------|----|-------|
| 氏名 | 吉岡 貫太郎 | | | |
| 論文名 | 組織工学的アプローチによる筋収縮モデルの構築 | | | |
| 論文調査委員 | 主査 | 九州大学 | 教授 | 上平 正道 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 井嶋 博之 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 工藤 奨 |

論文審査の結果の要旨

本研究は、ティッシュエンジニアリングによる骨格筋組織作製において、iPS細胞等より誘導した筋細胞と神経細胞の2次元培養および3次元培養による複合組織作製を行い、神経・筋接合に基づいた機能を生体外で再現できるモデルを構築することに成功するとともに、これらのモデルが筋疾患等の治療薬開発における薬剤スクリーニングシステムに適用可能であることを報告している。これらの成果は、化学システム工学上重要な知見を得たものとして価値ある業績と認められる。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。